



到着後、チームごとに10日間をふりかえりました。ゴールをして思うこと、嬉しかったこと、辛かったこと、そして仲間にも助けられたこと。素直に言い合えるのはこの仲間だからこそ。互いの話を聞く中で、自分や仲間の良いところに変更が気付くことができました。

一人の子供が言いました。「最初はすごく気を遣っていたけど、10日間ですごく仲良くなれた。ゴール前の最後の上り坂、こげばこいだ分、別れが近づいてくる。みんなとのサイクリングが終わるんだ。そう思うと、こぎたくなかった。でもみんなとゴール出来て良かった。」

夜は最後のふりかえり。そしてチームフラッグの記入です。初日は真っ白だったチームフラッグには子供たちの思いがいっぱいに書き綴られています。



8/10



最終日の朝、自分たちを乗せて251kmを走りきった自転車に感謝の思いを込めて、きれいに整備しました。



感想文を記入し、この後は閉講式です。家族に頑張った自分の成長をどのように伝えるか、どうしたら伝わるか。一生懸命に考えました。

閉講式の始まりです。後ろには、11日ぶりに顔を合わせる家族が見守っています。



家族の前で緊張しながらも、自分たちの言葉で思いを伝える子供たち。それぞれの目標を胸に旅立って行きました。



本ステージのポイント

○ふりかえりについて

禄剛崎にゴールした直後のふりかえりの時間を長めに設定した。仲間と達成感を共有し、周囲と自分とのかわり合いを改めて感じることを目的としたものである。また、事業当初の自分と現在の自分を対比し、自己の成長を実感するよう促した。

○閉講式について

保護者前で事業の感想とこれからの目標を発表する場を設けた。家族に11日間に渡る自分の頑張りや成長を伝えるとともに、本事業での経験を自分の未来にどのように生かしていきたいか考える機会とした。